

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度第1回枚方市病院事業運営審議委員会
開 催 日 時	平成23年 6月 1日(水) 15時00分から 16時35分まで
開 催 場 所	市立枚方市民病院 大会議室
出 席 者	委員：田口委員・堤委員・木村委員・鍛冶谷委員・藤田委員・ 三島委員・堀井委員・岩井委員・中川委員 病院：小池病院事業管理者・森田病院長・古川副院長・坂根副 院長・糸賀副院長・赤塚副院長・本合副院長・平井事務局長 他
欠 席 者	笹井委員
案 件 名	1. 正副委員長の互選 2. 新病院整備事業の展開について 3. 市立枚方市民病院改革プラン平成21年度の評価について 4. その他 ○院内保育施設について ○小児救急体制変更後の状況について
提出された資料等の 名 称	1. 新病院整備事業の展開について 2. 市立枚方市民病院改革プラン平成21年度の評価について 3. 院内保育施設について 4. 小児救急体制変更後の状況について
決 定 事 項	○委員長に三島孝之委員、副委員長に藤田幸久委員を互選した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所管部署（事務局）	市民病院 事務局 経営企画課

審 議 内 容

○平井事務局長	<p>平成 23 年度第 1 回枚方市病院事業運営審議委員会を開催させていただきましたところ、委員の皆様には公私何かとご多忙な中、ご出席賜り誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、今年度最初の会議でありますので、臨時委員長を選出するまでの間、私、事務局長の平井が、司会進行を務めさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>まず始めに、委員の紹介をさせていただきます。</p> <p>〔順次、委員紹介〕</p> <p>次に、本日出席しています職員を順次紹介させていただきます。</p> <p>〔順次、職員紹介〕</p> <p>次に、病院事業管理者からご挨拶を申し上げます。</p>
○小池病院事業管理者	〔 挨拶 〕
○平井事務局長	<p>臨時委員長の選出に移らせていただきます。</p> <p>本日は、今年度、最初の会議でありますので、委員長が選出されるまでの間、議会選出委員のうち年長の委員に臨時委員長の職務を行っていただきたいと存じますがいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」の声あり〕</p> <p>ご異議がないようですので、本日出席の議会選出委員のうち、堀井委員が年長委員ですので、堀井委員をお願いしたいと思います。</p> <p>堀井委員、委員長席にお着き願います。</p>
○堀井臨時委員長	<p>ただ今、ご紹介、ご指名いただきました堀井でございます。委員長が選出されるまでの間、臨時に私が委員長の職務を行いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ちまして、事務局から、委員の出席状況について、報告を求めます。</p>
○平井事務局長	<p>委員の出席状況をご報告いたします。</p> <p>本日、ただ今の出席委員は9名でございます。以上で報告を終わります。</p>
○堀井臨時委員長	<p>ただ今の報告にありましたとおり、出席委員は定足数に達していますので、これから「平成 23 年度第 1 回枚方市病院事業運営審議委員会」を開会します。</p> <p>それではまず、本会議の公開・非公開について、事務局から説明をお願いします。</p>
○木挽経営企画課長	<p>本会議は、「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」における非公開とできる事項のいずれにも該当しないことから、事務局としては、公開とさせていただきたいと考えております。</p>
○堀井臨時委員長	<p>事務局からの説明のとおり、公開とさせていただいてよろしいか。</p>

審 議 内 容	
○堀井臨時委員長	〔「異議なし」の声あり〕 それでは、本委員会は公開とさせていただきます。 本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。
○木挽経営企画課長	本日、傍聴希望者はおられません。
○堀井臨時委員長	それでは、暫時休憩いたします。 〔 休憩 〕
○堀井臨時委員長	委員会を再開いたします。 これから、案件第1「正副委員長の互選について」を議題といたします。 まず、委員長の互選を行います。 お諮りします。委員長の互選の方法は指名推選によりたいと思います。これにご異議ございませんか。
○堀井臨時委員長	〔「異議なし」の声あり〕 ご異議なしと認めます。よって、互選の方法は、指名推選によることに決しました。 これから、指名推選を行います。 お諮りします。指名推選の指名者は、臨時委員長にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。
○堀井臨時委員長	〔「異議なし」の声あり〕 ご異議なしと認めます。よって、指名推選の指名者は臨時委員長とすることに決しました。 委員長の指名を行います。委員長に、三島孝之委員を指名いたします。 お諮りします。ただ今、臨時委員長において指名いたしました三島孝之委員を委員長の当選人と定めることにご異議ございませんか。
○堀井臨時委員長	〔「異議なし」の声あり〕 ご異議なしと認めます。よって、ただ今、指名いたしました三島孝之委員が委員長に当選されました。委員長と交代させていただきます。三島委員長、委員長席にお着きください。
○三島委員長	三島でございます。どうぞよろしく願いいたします。 次に、副委員長の互選を行います。 お諮りします。互選の方法は、委員長同様、指名推選の方法によりたいと思いますが、ご異議ありませんか。
○三島委員長	〔「異議なし」の声あり〕 ご異議なしと認めます。 副委員長の互選の方法は、指名推選の方法によることに決まし

審 議 内 容

○三島委員長	<p>た。</p> <p>これから指名推選を行います。</p> <p>お諮りします。指名推選の指名者は委員長にしたいと思えます。</p> <p>これにご異議ございませんか。</p> <p>〔異議なし〕の声あり〕</p> <p>ご異議なしと認めます。</p> <p>よって、指名推選の指名者は委員長にすることに決しました。</p> <p>副委員長の指名を行います。</p> <p>副委員長に藤田委員を指名します。</p> <p>お諮りします。</p> <p>ただ今、委員長において指名しました藤田委員を副委員長の当選人と定めることにご異議ありませんか。</p> <p>〔異議なし〕の声あり〕</p>
○三島委員長	<p>ご異議なしと認めます。</p> <p>よって、ただ今指名しました藤田委員が副委員長に当選されました。</p> <p>それでは、正副委員長の就任に当たりまして、代表して、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>〔 挨拶 〕</p>
○三島委員長	<p>これから議事に入ります。</p> <p>案件第2「新病院整備事業の展開について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p>
○木挽経営企画課長	<p>〔資料に基づいて説明〕</p>
○三島委員長	<p>これから、ご質問、ご意見をお受けします。</p> <p>ご質問、ご意見はありませんか。</p> <p>特にないようですので、本件については、説明の聴取にとどめたいと思えます。</p> <p>次に、案件第3「市立枚方市民病院改革プラン平成21年度の評価について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p>
○中路事務局次長	<p>〔資料に基づいて説明〕</p>
○三島委員長	<p>これから、ご質問、ご意見をお受けします。</p> <p>ご質問、ご意見はありませんか。</p>
○堤委員	<p>市民病院だからこそ果たせる役割の中に、保健や福祉との連携という役割があると思えます。高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者で入院保証人がおられない方も沢山いらっしゃると思うのですが、そういう方が急に具合が悪くなって、緊急入院が必要とな</p>

審 議 内 容	
○中路事務局次長	<p>った場合にどういった取り扱いをされているのかお聞きします。</p> <p>また、院内保育の利用状況についても教えてください。</p> <p>まず、2つ目の院内保育については、今年の4月に開始したところですが、その他の案件のところで資料をご用意し、報告させていただきますのでよろしく願いいたします。</p> <p>次に、所得などの問題を抱えた患者様への対応についてですが、本院には医療相談・連携室という組織があり、経済的な問題につきましても、福祉事務所とも連携を図り、分納相談などのきめ細かな対応をしながら、受け入れをさせていただいているところでございます。</p>
○堤委員	<p>入院保証人がおられない場合にも、市民病院では受け入れされているのですか。</p>
○西村事務局次長	<p>原則的には、入院保証人をお願いしておりますが、お話にありましたように、一人暮らしで、身内の方がおられなかったり、おられてもなかなか連絡がつかない方もいらっしゃいます。</p> <p>しかし、だからと言ってそれを理由に入院をお断りするといったことは一切ございません。</p> <p>そういった場合には、まず、福祉事務所と連絡を取ります。</p> <p>一人暮らしの高齢者の場合、地域の民生委員が状況を把握しておられる場合が多いので、緊急入院が必要となり、連絡した場合には民生委員が駆けつけてくださるということもございます。</p> <p>また、枚方市の場合、高齢者施策の中で、地域包括支援センターが市内の各所にできていますので、そういったところとも連携し、何かあったときには、医療の現場と福祉の現場ですぐに連絡を取り合い、すぐに適切な治療を受けていただくということを最優先に考えております。</p>
○岩井委員	<p>市民病院はよくやっていると思います。</p> <p>民間病院でも保証人がないことを理由に断る病院はほとんどないと思いますが、未払いのまま逃げられたり、そのほか、患者さんの中には、さまざまな理由により受け入れが困難な方がおられます。</p>
○中川委員	<p>歯科医師の立場から、口腔外科の関係で要望させていただきます。</p> <p>高齢化が進む中、単に口腔衛生指導といったことだけでなく、歯内療法における根管治療の分野など、単に民間病院がやらないからというだけでなく、公的な病院として積極的に踏み込んでいただきたいと思います。</p>
○三島委員長	<p>ご要望ということですが、これに対して、事務局から何かコメン</p>

審 議 内 容

<p>○鍛冶谷委員</p>	<p>ト等ございませんか。 ないようですので、この件についてはご要望ということにさせていただきます。</p> <p>他に、ご質問、ご意見はございませんか。</p> <p>今後、この改革プランの評価はどのように反映されていくのですか。また、この改革プランは 25 年度までの計画ということですが、その後、第二次のプランを作成されるのですか。現在、評価委員は専門の方ばかりですが、患者や市民からの視点での評価を取り入れていく予定はありますか。</p>
<p>○中路事務局次長</p>	<p>資料 1「新病院整備事業の展開について」の 2 ページの表 3 の中に、市民病院改革プランの項目がございます。これにございますように平成 20 年度に策定をいたしまして、22 年度に 21 年度の評価が行われ、間もなくですが、この 23 年度に 22 年度の評価を行うことになっております。24 年度の段階では、新病院のことを明確に見据えることができるようになりますので、この時点で改定を行い、それに基づき、評価を繰り返していくということになるかと思えます。</p> <p>また、冒頭でご説明させていただきましたように、この改革プランにつきましては、策定している主体が枚方市ということもあり、改革プラン評価委員会は、枚方市のほうで設置されています。私ども病院といたしましては、こういう評価であるとお示しいただくことになっており、評価委員会そのものの委員の構成につきましては、こちらでご見解を申し上げるということではできませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
<p>○三島委員長</p>	<p>他に、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。</p>
<p>○岩井委員</p>	<p>枚方市が「改革プラン」と名付けていますが、「改革」ということは、今の市民病院はだめだという評価がなされているということですか。また、総合的に何点の評価がなされているのですか。</p>
<p>○中路事務局次長</p>	<p>この改革プランにつきましては、国の指導のもと、すべての公立病院について、全国一律の、同一の観点で改革のためのプランを作っていくということで始まったものであり、本市だけが「改革プラン」といつているのではなく、ほぼ、すべての公立病院について、同じような形で策定されております。</p> <p>また、本市の改革プランの評価につきましては、包括的に何点であるという評価を行うというよりは、もう少しきめ細やかな見方や議論がなされています。現状分析を行い、この医療圏の中での本院の位置を確認し、公立病院として果たすべき役割を考えなが</p>

審 議 内 容	
○岩井委員	<p>ら、どのようにして健全な経営と地域における公立病院としての役割を実現していくのかを、議論の中で考えていきましょうという視点で進めていただいておりますので、今の状態が何点であるとか、だめだから改革するといった議論にはなっておりません。市民病院は努力していると思うのですが、今までのやり方では十分ではなく、もっと効率よくするためにDPCを取り入れたわけですよね。しかし、DPCを取り入れるのが少し遅かった。そういうところをもう少し追及しても面白いのではないかと思います。ただ、市民病院そのものは、他の公立病院と比較してもよくやっていると思います。</p>
○三島委員長	<p>他に、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。 特にないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。 次に、案件第4「その他」を議題とします。 本日は、「その他」の案件として、「院内保育施設について」と「小児救急体制変更後の状況について」の2つの案件をお聞きしております。 それではまず、「院内保育施設について」を議題とします。 事務局から説明を求めます。</p>
○門田総務課長	<p>〔資料に基づいて説明〕</p>
○三島委員長	<p>これから、ご質問、ご意見をお受けします。 ご質問、ご意見はございませんでしょうか。</p>
○岩井委員	<p>院内保育は非常に良いことだと思います。しかし、一般の保育所に入れない方が利用されているので、定期利用者といっても他が空けば、そちらに行かれるので、児童の出入りをしっかり把握することが必要だと思います。</p>
○門田総務課長	<p>ただ今ご指摘いただきましたように、認可保育施設への申し込みを行っている職員が、待機待ちの期間に利用するケースが非常に多いのではないかと考えております。実際に、5月の1か月だけ利用して、認可保育施設への入所が決まったので退所するという方も1名おられました。しかし、まだ、運営を始めたばかりですので、状況の把握にはもう少し時間がかかるものと考えております。</p> <p>また、出産後、育児休業をとる職員が多いのですが、院内保育所ができたことによりまして、病院のほうで子供を預かってもらえるのなら、少し早めに仕事に復帰したいという職員が増えてきているという動向もございます。</p>
○岩井委員	<p>今後、利用者が多い月とかいうこともわかってくると思いますの</p>

審 議 内 容	
○門田総務課長	<p>で、そういう動きも見ながら、定員が、10名が適当なのかどうかということも考えていく必要があります。</p> <p>児童数だけでなく、児童の年齢構成についても時期によって変動いたします。現在、保育施設の運営については、保育事業者に委託しておりますが、国の配置基準に基づき、児童が増えた場合には保育士を増員し、児童が減った場合には減員するといった形の契約となっております。</p>
○平井事務局長	<p>補足させていただきますと、委託料については実績払いとなっております。配置する保育士数による月々の精算払いとなっておりますので、そういう意味では、効率的な経営ができていないかと考えております。</p>
○三島委員長	<p>他に、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。</p>
○木村委員	<p>院内保育施設は病院職員のお子さんをお預けするような施設であると認識しているのですが、そうであれば、病院職員には夜勤とかもあり、勤務は月曜日から金曜日までの8時から18時までとは限らないと思います。法制度的な制約もあるかと思いますが、今後、ニーズとかに応じて、土曜日や日曜日にも保育を行うといったことも考えていかれるのでしょうか。</p>
○門田総務課長	<p>少子化問題等が取り上げられる中、子育て支援の政策が充実されてきているところであり、小学校就学前のお子さんを養育している職員につきましては、育児短時間制度が権利として保障されており、そういった権利をしっかりと保障していくことも重要であると考えております。</p> <p>院内保育開始前に職員に対し、アンケート調査を行いました。その中で、土日や夜勤に対応するものとしてほしいといった要望は一部にはございましたが、実際に院内保育を利用したいと考えている職員に限定し、再度、アンケート調査を行ったところ、そのような要望はございませんでした。</p>
○小池病院事業管理者	<p>とりあえず保育時間につきましては、8時から18時ということでスタートいたしましたが、例えば、子供を預かってもらえるのなら宿直も可能だというような声があれば、柔軟に対応していきたいと考えております。それから、現在勤務している職員だけでなく、本院での勤務を考えている医師や看護師から特別な要望が出てくれば、そういった要望にも柔軟に対応していきたいと考えております。</p>
○木村委員	<p>確認になりますが、今後、ニーズがあれば、運営時間の延長も検討され、お子さんをお持ちの方に関しては、いわゆるワーキング</p>



審 議 内 容	
○平井事務局長	マザー制度のように、なるべく通常の勤務時間にシフトしていくといった形の措置をとられていくということによろしいですか。当面は、8時から18時ということで始めさせていただきましたが、土日や夜間の保育についても希望を聞いておりますので、今後、順次検討していきたいと考えております。
○岩井委員	主は病院であり、保育所ではありません。病院は、医師であれ看護師であれ、その人にどうしても働いてほしいと思ひ、その人が、院内保育所がなければ働けないということであれば、病院は必死になって院内保育所を作ります。でも、人が十分にいるのであれば、作る必要はありません。その人にどうしても働いてほしいから院内保育をやるのであって、院内保育を充実させることが、病院の主目的ではありません。
○小池病院事業管理者	基本的には、岩井委員がおっしゃられたような観点で行っております。以前、三人のお子さんをお持ちのある女性医師から相談を受けました。お子さんを預かってもらえるところがあれば、本院に就職しても構わないというもので、事務局長もいろいろと調整に努力してくれたのですが、二人しか預かってもらえるところを見つけられず、保育の問題で採用できないということがありました。そういったこともあり、医師、看護師の確保を主眼に置いております。
○三島委員長	他に、ご質問、ご意見はございませんか。 特にないようですので、本件についてはこの程度にとどめたいと思います。 次に、「小児救急体制変更後の状況について」を議題とします。 事務局から説明を求めます。
○藤重医事課長	〔資料に基づいて説明〕
○三島委員長	これから、ご質問、ご意見をお受けします。 ご質問、ご意見はありますか。特にないようですので、本件につきましては説明の聴取にとどめたいと思います。 予定されていた案件は以上ですが、その他、何かございませんでしょうか。
○堀井委員	ご存知のように、3月11日に東日本で大きな地震がありました。そして、今後30年以内に南海・東南海地震が起こる確率は70%であると言われております。今日は公共施設部も来ておられますので、市民病院がどの程度の地震に耐えられるのか。また、今回の地震でもライフラインが完全に停止しましたが、そのような場合に、市民病院ではどのような対応をとられるのかの2点について

審 議 内 容	
○中路事務局次長	<p>お聞きします。</p> <p>まず、耐震についてですが、平成 17 年 3 月に市立枚方市民病院の基本計画を策定させていただきました。その段階で、耐震性に課題があるため建て替えが必要であるという判断をいたしました。基本計画に先立つ平成 8 年、ちょうど阪神淡路大震災の直後になりますが、耐震構造調査を行いまして、すべての病棟につきまして、耐震性に課題があることを確認しております。ただ、耐震補強をどうするのかについて検討を行いました。様々な理由により、現実的には非常に困難であり建て替えるほうがよいという判断を行った経過があり、現時点での耐震性能につきましても、正確には把握できておりません。</p> <p>次に、ライフラインの寸断等に関してですが、病院には自家発電装置がございまして、一定の期間においては、最低限の動力源の確保はできております。しかし、それが、3日、4日、5日となってきましたとだんだん苦しくなっております。また、医療材料等の備蓄につきましても、SPD（院内物流）をやっている倉庫に常に備蓄がございまして、一定期間につきましても、それで対応ができるものと考えております。次に食料につきましても、院内の備蓄やきららの防災備蓄倉庫にある備蓄食料を市と連携して確保させていただくという対応計画となっております。</p>
○堀井委員	<p>耐震は全くされていないということですか。大変重要なことだと思うのですが、沢山の命を預かっているのに、もしものときどうするのですか。</p>
○小池病院事業管理者	<p>耐震につきましても、さきほど次長のほうから申し上げましたように十分ではございませんが、現状の施設の中で、できるだけ対応をしていきたいと考えております。</p>
○堀井委員	<p>市民の命を預かっている病院であり、病気を治すことも大事なことです。が、（地震によって）それ以上の命が奪われることもあるわけです。</p> <p>新しい病院が立つまでにまだ 2 年もあり、その間に絶対に何も起こらないということは想定できませんので、きちんと対応していく必要があるのではないですか。</p>
○小池病院事業管理者	<p>耐震補強にはかなりの費用がかかりますので、一刻も早く新病院を完成することを目指し、努力していきたいと考えております。</p>
○堀井委員	<p>それではいけないと思います。人の命を預かっているわけですから、お金がかかろうと最低限のことはしておかないといけないと思います。軽々しく扱える問題ではないと思いますので重ねて申</p>

審 議 内 容	
<p>○三島委員長</p> <p>○森田病院長</p> <p>○三島委員長</p>	<p>し上げておきます。</p> <p>他に、ご質問、ご意見はございませんか。</p> <p>それでは、以上で、本日の案件はすべて終了しました。</p> <p>これで本日の議事は終了いたします。</p> <p>閉会に当たり、病院長から挨拶をお受けします。森田病院長。</p> <p>〔 挨拶 〕</p> <p>以上で、本日の会議を閉会します。</p> <p>長時間にわたり、ありがとうございました。</p>